

第143回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成20年10月9日(木) 11:00~12:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 8人  
出席委員数 6人

出席委員の氏名 森内 律子  
青木 敬信  
片岡 真理  
古磯 勝子  
島田 恭子  
須賀 英之

欠席委員の氏名 片山 貴之  
早川 富美子

放送事業者側出席者 高松 征雄 代表取締役社長  
原田 宏 取締役放送部長  
佐藤 望 放送部長代理

4 議題 番組の試聴及び意見交換

5 議題の概要 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) ベリテンライブの報告  
(3) その他  
(4) 次回(11月)の開催日程について

6 議事の内容

(1) 番組の試聴及び意見交換

9月21日(日)19:00~19:55に放送した自社制作の特別番組

「あやえもんのGO!GO!B R E X!!~B R E Xを支える人々」の試聴と意見交換を行った。

事業者側：“あやえもん”こと井出文恵アナウンサーは、昨年から、夕方の生ワイド番組「B - B O X」内で放送している日本バスケットボールリーグ(J B L)所属のプロチーム「リンク栃木ブレックス」の応援コーナーを担当している。

ブレックスは今季、2部からJ B Lのトップリーグに昇格し、弊社がブレックスと各種イベントなどで協賛する『メディアパートナー』契約を結んだこともあり、今回は、井出アナが1年に及ぶ取材の成果を特番にまとめ、リーグ開幕を盛り上げようという内容。

弊社がメディアパートナーとなった後、日本初のN B A選手となった田臥選手の入団が決定、バスケットブームが一気に盛り上がり、観戦チケットの完売が続出している。

委員：私は番組を聞いていて、井出アナの声のトーンがインタビューとナレーションで極端に変わることが気になった。

委員 : この特別番組は、井出さんが担当しているコーナーの素材をつないで編集したのか？

事業者側 : いいえ。

コーナーは10分程度で、基本的に選手をスタジオに招き、試合を振り返ったり、紹介したりするインタビュー形式。

今回の番組は、主として、チームを支える裏方を取材し番組を構成した。

委員 : たまたまこの放送を聞いた人は、バスケットに興味を持ち「行ってみよう！」と思うような番組になっている。裏方の大変さも垣間見え、きちんとしたスポンサーを見つけることの大変さも伺える。出演した皆さんもしっかりした考えと気持ちを持っていて、納得できる構成だ。バックで流れる音楽もロックで始まり、「バスケットはやっぱりロックに良く合う」と改めて感じた。また、終盤のインタビューではスロー系のロックを使いうまく終わっていた。井出さんのしゃべり方は、かわいいキャラクターだからなのか、滑舌の問題もあるのか、少し幼い感じがした。そういう部分を鍛えて今後に期待したい。

委員 : 確かに、バスケットについて詳しくない人にも「なるほど」と納得できる内容だった。

委員 : しゃべりはかわいいのだろうが、テーマに対してワンパターンな所がづらいかなと思った。裏方の大変さは分かるが、「じゃあ、どういうふうに変なのか」という説明がない。もう少しその辺を語ってくれれば興味をそそったのではないかな。とはいえ、番組を聞くことでバスケットについて色んなことがわかった。

委員 : 先ほど意見が出たが、ナレーションとインタビューのトーンが違いすぎると、私も強く感じた。番組のタイトル部分で、井出さんの声やしゃべり方はかわいすぎて違和感があった。アイドルではなくアナウンサーなのだから、この場合はかわいいのはプラスの評価にならないと思う。それから、ナレーションについてだが、一定のところになると、語尾が下がってしまい、いかにも“原稿を読んでいます”という感じになっている。しかし、番組の最後「みんなで応援に行きましょう！」と盛り上げる所では、気持ちが入っていて、私も応援に行こうという気持ちにさせられた。そういう点で、企画としては成功しているのではないかな。井出さんのしゃべりのスキルは、まだまだ学ぶべき所があるように感じる。ご自分でこの放送を聞き直してチェックすれば、成長の糧がたくさん見つけられるはずだ。

委員 : エフエム栃木では、ブレックスが出来たときから番組にコーナーを立ち上げ、追跡取材をし、それが特番につながったわけですね。それがすごいと思う。最初から今日を予想していたのか？

事業者側 : ある程度は。

ブレックスがプロ集団でシステマチックに運営されているため、短期間に強くなるとは思っていたが、田臥選手を引っ張ってきてこんなに人気になるとは予想もつかなかった。

私たちがメディアパートナーを組んだのは、田臥選手の入団が決まる前のことで、決まって本当に良かったと喜んでいる。

委員 : エフエム栃木がそういう人気チームを応援する事によって、エフエム自身の評価にもつながるかもしれない。

番組の構成については、“ブレックスを支える人たち”ということで何人が登場していたが、私はもう少し人を絞って追いかけた方が良かったのかな、と感じる。その方が、テーマを掘り下げられたのではないかな。

委員：ブレックスが誕生して1年半、その流れや地域における位置づけが分かりやすくコンパクトにまとめられ、ブレックスへの入門編の企画として成功している。番組の狙いも“支える人々”ということで、社長や取締役らを登場させたことによって、スポーツビジネスの厳しさ、地域活性化を目指す姿なども分かり、人選は大変良かった。  
井出さんについては、ここへ来る途中に井出さんが担当する番組を聞いていたのですが、1年経ってたいが安心して聞けるようになった、成長したと感じた。しかし、この番組に関しては、どうも1年以上取材している割には感情移入があまりないな、という印象だった。アナウンサーとして説明する部分はあるのだろうが、もうちょっと感情移入して番組を盛り上げてよかった。  
それから、エフエム栃木が、ブレックスのメディアパートナーとして今後どんな応援をしていくのかにも注目している。多面的に地域を盛り上げていくために社会的に広がりを持った活動をしていって欲しい。

事業者側：ドキュメンタリー番組を制作するにあたり、今回は取材者とナレーションの二役を井出アナに振り当てましたが、その難しさがあったと思う。井出アナにブレックスを追う主人公役を振り当て、ナレーションは別の人に担当させた方が良かったのかもしれない、という反省はある。

委員：色々と厳しい意見も出たが、まだ若いので、経験を積んでもらい今後に期待しましょう。

## (2) ベリテンライブの結果報告

予定どおり9月14日(日)に開催し、約一万人の観衆を集め盛況だったことを報告した。

## (3) その他

特になし

## (4) 次回(11月)の開催日程について

次回の開催を11月13日(木)にすることについて、全員の了解を得た。

## 7 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

## 8 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- a) 放送：10月26日(日)午後7時55分の「レディオベリー インフォメーション」内
- b) 書面：本社事務所に備え置き
- c) インターネット：エフエム栃木ホームページ内

## 9 その他の参考事項

なし